

## 事前評価報告書

令和3年9月6日（月）

研究種別	一般研究	
研究課題名	クニマスの保全と養殖に関する研究	
研究期間	令和4年度～	
	評価項目	評価点
1	研究の必要性	4.7
2	研究内容の新規性	4.0
3	研究目標、研究計画の妥当性	4.0
4	研究予算、研究体制の妥当性	3.7
	総合評点	4.1
[評価所見] 本県にのみ現存するクニマスの保全と養殖に関する研究は、山梨県の希少生物保全や地域振興および水産資源としての有効活用だけでなく、我が国の野生生物保全において重要な意義がある。得られる知見は、県内外に多方面に波及するものであり研究の必要性はきわめて高い。  これまで蓄積してきたモニタリングや養殖条件に関する知見に加え、ICT(リアルタイムモニタリング)とAI(魚種の自動判別)を活用した食害評価、環境依存的な発育や生残の機構解明など、きわめて新規性の高い手法を用いた研究が計画されている。  過去の研究活動実績に立脚した計画が定められており、期間内で十分な成果が得られる可能性が高い。一方、保全と養殖の個々の研究内容についてはより具体的な目標を設定することが望ましい。  クニマス保全にあたっては、効果的な外来ウナギ駆除技術の開発が必要であり、より具体的な研究計画の検討を期待したい。  これまでの研究実績により優れた成果が得られており、現体制で今後も十分な成果が得られるものと期待される。一方で、クニマスの保全と管理にはより多様な主体が関わるべきであり、県内外の関連機関との連携体制の構築も進めたい。  本課題で得られる成果は、山梨県の内水面漁業や地域振興だけでなく、日本の生物多様性保全と希少生物の保護・活用に資する貴重な知見となる。国や秋田県も含めた研究協力体制の構築が望まれる。		